

活 動 名 称 (40字以内)	おじゃり申せ種子島！ 宇宙に最も近いディープな島まるごと体験プログラム		
団 体 名 等	種子島 西之表市 / 東京大学「プラチナ社会」総括寄付講座		
活 動 区 分	☐ ボランティアなどの社会貢献活動	選 考 方 法	☒ 先着順
	☐ 国際交流体験活動		☐ 書類審査
	☒ 就労体験活動	募 集 人 数	☐ 面接
	☒ 農林水産業・地域体験活動		20 人
	☐ フィールドワーク体験活動		
☐ 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活 動 期 間	下記いずれかの日程での参加となります。 希望期間①、②のいずれかを、申請書内の「プログラム名称」欄に記載してください(備考欄参照) ①8/7(月)～8/20(日) 2週間 ②8/17(木)～8/30(水) 2週間 ※8/20は鉄砲祭りです	主な活動場所	鹿児島県西之表市 (種子島)
目 的	少子高齢化していく日本社会でどう未来を構築していくのか。離島というひとつの縮図的な営みの中に身を置くことで、現実の厳しさ、又は豊かな自然と島人との交流で生まれる人間本来の生き方など、これから自分で歩いていく道の大切な通過点として、考える機会としてほしい。		
具体的な内容 (800字程度)	九州の南方にあり古くから交易の中継地として栄えた種子島。戦国の歴史を変えた鉄砲の伝来や日本の科学技術の粋を集めた世界一美しいロケット基地でも知られている。また温帯と亜熱帯性の境界地にあり、平坦で畑地が多いことからサトウキビや安納いもなどの農作物のほか、畜産も含め一次産業がとても盛んな島である。さらに明治以降は、飢饉や災害による島外からの集団移住を受け入れ、多様な文化を育んできた風土がある。一方、種子島では、大学等と地域の連携のもと自然資源を活かし持続可能な社会モデル構築を目指す「スマートエコアイランド種子島」構想を推進している。学術の持つ先端的な知識や技術を直面する地域の課題に社会実装して行く、まさに最前線のプロジェクトが進められている。 本体験プログラムでは、現代社会の課題が先鋭化する種子島(西之表市)において、地域のプレーヤーである行政、農業、漁業、林業、酪農、商工業、医療・介護、集落など実際の現場での体験を通し、社会的な課題が大都市圏よりも先進して顕在化してしまっている地域に若者の視点から改善・解決にむけた地域の在り方や、特徴として延ばすべき点など、行政の政策への提言を示してもらいたい。 (体験例) 行政・・・市長の秘書随員として市政の現場をまわる。市役所内の各行政部署での職場体験 8月20日に開催される島内最大の夏のイベントである「鉄砲まつり」への参加 農業・・・営農指導員と一緒に各農家の圃場を巡回(8月下旬から安納芋の収穫が始まります) 漁業・・・漁船での漁の見学や、近海でとれた新鮮な魚介類のセリや水揚げを手伝う 林業・・・チップ工場での丸太の整理、コアラの餌であるユーカリ畑の管理(収穫・下刈り) 医療・福祉・・・離島特有の医療や高齢者福祉施設の現状を学ぶ 集落・・・伝統行事や子供たちとのふれあい学習など、島民の生活感が漂う暮らしを肌で感じる 環境・エネルギー・・・バイオディーゼル製造実証施設(東北大学等との共同研究) その他・・・観光地巡りのほか休日にはサーフィン、スキューバダイビング、シーカヤックなどのマリンスポーツ 南の島の夏を思いっきり体感しながら、かけがえのない時間の中で自分を再発見 (※農業等屋外体験については、天候や作物の収穫期時期によって実施できない場合があります。) (体験を通した政策提言) 体験した結果、感じた良い点や課題をまとめ、地域行政の政策や民間の活動として今後必要といえる戦略を提案する。		
備 考	本プログラムは東京大学「プラチナ社会」総括寄付講座との連携プログラムになります。 参加申請書内の「プログラム名称」欄には、プログラム名称を記入した後、参加希望期間「①8/7(月)～8/20(日)」、「②8/17(木)～8/30(水)」のいずれかを明記してください。 また、「具体的な内容」欄を参考に、種子島でやりたいことを明記してください。		